

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成21年1月29日(2009.1.29)

【公表番号】特表2008-544929(P2008-544929A)

【公表日】平成20年12月11日(2008.12.11)

【年通号数】公開・登録公報2008-049

【出願番号】特願2008-519313(P2008-519313)

【国際特許分類】

B 6 5 B 51/10 (2006.01)

【F I】

B 6 5 B 51/10 W

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月20日(2008.10.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

封止装置において熱可塑性フィルムを加熱し、切断し、封止するように構成されたブレードアセンブリであって、

熱源と、

前記熱源に熱的に接触するとともに、4つの別個の切断面を有する長円形の金属部材とを備え、前記切断面のうちの1つの一部分が、前記フィルムに接触するために配置されるように、前記金属部材が、前記アセンブリに配置される、ブレードアセンブリ。

【請求項 2】

a. 前記金属部材に熱的に接触している温度センサをさらに備え、その場合、任意に、前記熱源が、開口を有するヒータブロックを備え、前記温度センサが、前記金属部材に接触するように前記開口に配置され、

b. 前記金属部材が取り付けられた垂直方向に調節可能なプラットフォームをさらに備え、前記プラットフォームの高さの調節によって、前記フィルムに接触する切断面の部分が変化し、

c. 前記熱源および前記金属部材が内側に收容される囲いをさらに備え、その場合、任意に、前記囲いの内部に配置され、前記囲いと前記熱源との間に配置される断熱材料をさらに備え、その場合、さらに任意に、前記断熱材料が、800 ° F (約 427 ° C) で測定したときに 1 B T U / h r × i n / s q . f t 未満の熱流量を有し、および

d. 前記金属部材が研磨されている、

のいずれかである、請求項 1 に記載のブレードアセンブリ。

【請求項 3】

封止装置において熱可塑性フィルムを加熱し、切断し、封止するように構成されたブレードアセンブリであって、

熱源と、

少なくとも 1 つの切断面を有し、前記熱源に熱的に接触している金属部材と、

前記金属部材が取り付けられた垂直方向に調節可能なプラットフォームとを備え、

前記プラットフォームおよび前記アセンブリが、前記封止装置に配置されたときに、前記プラットフォームの高さの変化によって、前記フィルムに接触する切断面の部分が変化する、ブレードアセンブリ。

【請求項 4】

a. 前記熱源および前記金属部材が内側に收容される囲いをさらに備え、その場合、任意に、前記囲いの内部に配置され、前記囲いと前記熱源との間に配置されている断熱材料をさらに備え、その場合、さらに任意に、前記断熱材料が、 800°F （約 427°C ）で測定したときに $1\text{ BTU}/\text{hr}\times\text{in}/\text{sq}\cdot\text{ft}$ 未満の熱流量を有し、

b. 前記金属部材が研磨され、および

c. 制御システムおよびアクチュエータをさらに備え、前記制御システムが、前記アクチュエータに通信し、前記アクチュエータが、前記調節可能なプラットフォームの高さを変化させるように構成される、

のいずれかである、請求項 3 に記載のブレードアセンブリ。

【請求項 5】

封止装置において熱可塑性フィルムを加熱し、切断し、封止するように構成されたブレードアセンブリであって、

熱源と、

少なくとも 1 つの切断面を有し、前記熱源に熱的に接触している金属部材と、

前記熱源および前記金属部材が内側に收容される囲いとを備え、前記囲いが、前記囲いの内部に配置され、前記囲いと前記熱源との間に配置されている断熱材料を有する、ブレードアセンブリ。

【請求項 6】

前記金属部材に熱的に接触している温度センサをさらに備え、その場合、任意に、前記熱源が、開口を有し、前記温度センサが、前記金属部材に接触するように前記開口に配置される、請求項 5 に記載のブレードアセンブリ。

【請求項 7】

封止装置において熱可塑性フィルムを加熱し、切断し、封止するように構成されたブレードであって、

コーティングが付けられ研磨された金属からなる、ブレード。

【請求項 8】

a. 前記金属が、アルミニウムを含み、前記付けられたコーティングが、 0.1 未満の摩擦係数を有し、

b. 前記金属が、アルミニウムを含み、前記付けられたコーティングが、T F E を有する陽極酸化被膜からなり、

c. 前記金属が、銅を含み、かつ前記付けられたコーティングが、 0.1 未満の摩擦係数を有し、

d. 前記金属が、銅を含み、前記付けられたコーティングが、チッ化チタンを含み、および

e. 前記付けられたコーティングが、 400°F （約 204°C ）の温度において 0.1 未満の摩擦係数を有する、

のいずれかである、請求項 7 に記載のブレード。

【請求項 9】

物品を熱封止可能なフィルムで包むように構成された装置であって、

着脱式のヒータブロックアセンブリと、

前記着脱式のヒータブロックを前記装置へと固定するように構成されたプラットフォームとを備える、装置。

【請求項 10】

a. 前記着脱式のヒータブロックアセンブリが、取り付けピンを備え、前記プラットフォームが、前記着脱式のヒータブロックアセンブリを前記プラットフォームへと固定するために、前記取り付けピンを囲むように構成された開口を備え、その場合、任意に、前記プラットフォームが、2 枚のプレートを備え、前記 2 枚の各プレートが、前記 2 枚のプレートが一体に結合されたときに、前記取り付けピンを固定するために適した前記開口が生成されるように、前記開口の一部分を含み、その場合、さらに任意に、前記 2 枚のプレー

トの第 1 のプレートが、前記 2 枚のプレートの第 2 のプレートを前記第 1 のプレートに固定するように構成された固定機構体を備え、または

b. 前記プラットフォームの前記フィルムに対する高さが、調節可能である、のいずれかである、請求項 9 に記載の装置。